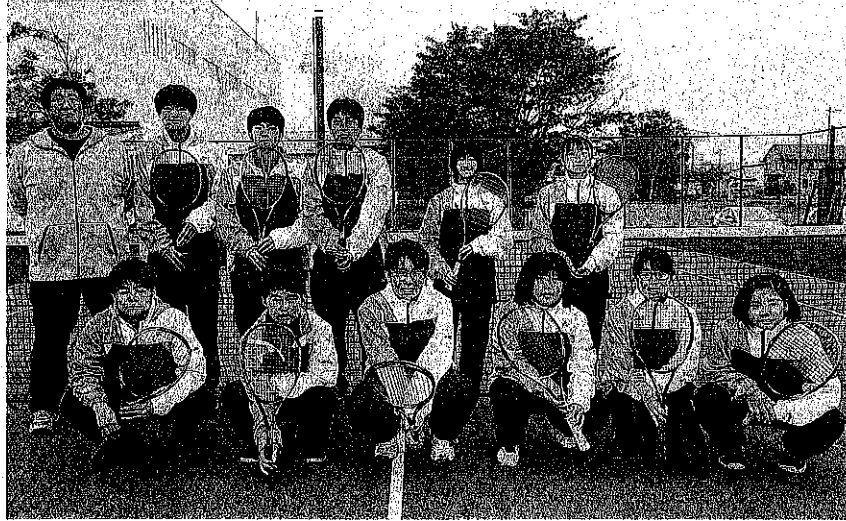


熱中時間

ソフトテニス部 白糠高



白糠高ソフトテニス部の部員たち

全道大会出場が目標

1白の白糠町総合体育館横のテニスコート。白糠高ソフトテニス部の部員たちが放課後、週末の試合に向けて練習に指導する。



フォアハンドのストロークを打つ部員

に励んでいた。「(ストロークでは)しっかり振り切るように」。顧問で競技経験者の福田武司教諭(41)が部員たちに指導する。

部員は1〜3年生の男子7人、女子5人の計12人。町内の中学校にはソフトテニス部がなく、全員が高校に入ってから競技を始めた。最初はラケットの握り方や素振りから始める。中学生の時に所属していた部活は、野球やサッカー、剣道、美術などさまざま。

練習ではラリーやサーブ、ボレーなどの基礎練習を中心に行い、試合が近くなると実戦形式の練習に汗を流す。

福田教諭は「全員が初心者からのスタートだが、みんなすごくまじめで、何事にも一生懸命に取り組んでいる」と話す。中止となった高体連に代わる7月の釧路地区の大会では、男子が団体と個人ダブルスで準優勝の成績を収めた。

部長で2年生の日下拓飛(16)は「みんな仲良く、やるべきはやる部活」と話す。今後の目標について「全員で全道大会に出場したい。部長としても部員を引っ張るようなプレーをしたい」と意気込んでいる。(今井裕紀)

△メモ▽火曜日が休み。練習は男女一緒に行っている。

ひろびろくしろ